

## 地球温暖化対策技術開発事業の採択案件の概要

## I. 省エネ対策技術実用化開発分野

事業	自然エネルギー利用マルチソース・マルチユースヒートポンプシステムの開発
提案者 (共同実施者)	東京大学 (鹿島建設)
事業概要	本技術開発は、建物における熱用途に関して、多様な自然エネルギー（マルチソース）をヒートポンプ（HP）と水ループを介して多目的に利用（マルチユース）するシステムを開発し、大幅な省エネルギー化をはかる。
20年度委託額	23,400千円

事業	既存オフィスにおけるグリーンワークスタイルのための ICT リニューアル開発
提案者 (共同実施者)	株式会社 NTT データ経営研究所 (株式会社早稲田環境研究所)
事業概要	主に既存中小ビルのオフィスを対象に、働く人の行動に合わせたコントロールとマニュアル操作を取り入れることで利便性を損なわず、ICT を用いてワーキングプレースを丸ごと省エネ化するシステムの開発を実施する。
20年度委託額	90,000千円

事業	屋根一体型高効率真空集熱・負荷応答蓄熱等を用いた創エネルギーシステムの技術開発
提案者 (共同実施者)	三井ホーム株式会社 (北海道立北方建築総合研究所、近畿大学)
事業概要	真空化技術を用いた高効率集熱器、および高断熱・負荷応答型の蓄熱槽の開発を行う。さらに、給湯設備を含めた太陽熱エネルギー利用の最適化システムにより、住宅の給湯・暖房エネルギーに掛かるCO <sub>2</sub> を削減する。
20年度委託額	51,300千円

## II. 再生可能エネルギー導入技術実用化開発

事業	固体酸触媒を用いた新しいセルロース糖化法に関する技術開発
提案者 (共同実施者)	東京工業大学 応用セラミックス研究所 ( (財) 神奈川科学技術アカデミー)
事業概要	木質系バイオマスを固体酸触媒で効率的に糖化する実用プロセスを開発する。プロダクトとの分離が容易で、繰り返し反応に使える革新的固体酸触媒を用いることにより、エネルギー消費を低減したプロセスを実現する。
20年度委託額	18,369千円

事業	みかん搾汁残さを原料としたバイオエタノール効率的製造技術開発研究
提案者 (共同実施者)	愛媛県環境創造センター (愛媛大学、新日鉄エンジニアリング(株))
事業概要	有効利用されていないみかん搾汁残さを原料として、連続式エタノール化技術の実証研究及び自動車、農業ハウス・農業機械等へのバイオ燃料利用など地産地消モデルの実用化に向けた技術開発を行う。
20年度委託額	40,000千円

事業	中山間地域におけるバイオオイルの利活用ネットワーク構築のための技術開発事業
提案者 (共同実施者)	株式会社早稲田環境研究所 ( J F E 環境ソリューションズ株式会社、 J F E エンジニアリング株式会社、足立石灰工業株式会社)
事業概要	低コストで生産が可能な木質系バイオマスからのバイオオイル製造と工業炉や清掃工場等の熱利用に適用するための技術開発を行い、島根県、岡山県の中山間地における地産地消型の利活用ネットワークを構築する。
20年度委託額	54,000千円

事業	埋立終了後の最終処分場上部を活用した太陽光発電システム 実用化に関する技術開発
提案者 (共同実施者)	大成建設株式会社 (大栄環境株式会社)
事業概要	太陽光発電は、発電パネルの設置に広大な面積を必要とする。 未利用の広大な土地を持つ最終処分場上部に、その立地を考慮 した安価な設置技術開発を行い、太陽光発電の普及を図り温暖 化ガス排出削減を目指す。
20年度委託額	89,100 千円

#### V. 製品化開発分野

事業	クリーニング工場の排水・排気熱源回収による、冷温風・給湯 を併給利用する全熱回収マルチヒーティングシステムの技術 開発
提案者 (共同実施者)	株式会社オリエントジオサービス (有限会社アニスネット、ゼネラルヒートポンプ工業株式 会社)
事業概要	洗濯機・乾燥機からの排水・排気熱を回収し、冷温風・給湯に 併給する高効率ヒートポンプシステム技術開発を行う。CO2 排 出量と燃料費の5割削減を両立する製品化開発の実現で、環境 経営の実践に大きく寄与する。
20年度補助額	57,500 千円

事業	低CO2排出型IH缶ウォーマーの開発事業
提案者 (共同実施者)	大和製罐株式会社
事業概要	コンビニエンスストアなどに設置している「飲料缶を常時加温 する既存缶ウォーマー」に代わり、販売時のみ短時間で効率良 く加熱して加温販売を可能とする「独自技術からなるIH缶ワ ーマー」の開発を行う。
20年度補助額	9,000 千円

※20年度委託額及び補助額はいずれも予定であり、今後変更がありえる。